

来聴歓迎・入場無料

関東シンビオ・黄檗会 共同開催 講演会 (改訂版)

日 時

平成25年12月14日(土) 13時30分～ (13時開場)

講演会場

懇親会場

京都大学東京オフィス
東京都港区港南2-15-1品川インターシティA棟27階
関東シンビオ・黄檗会

プログラム

時 間	内 容
13：30～13：40	開会の辞
13：40～14：50	【講演1】「原子力安全に求められるリーダーシップ」 一般社団法人 原子力安全推進協会 理事・人材育成部長 久郷 明秀 講演概要 福島第一原子力発電所の事故では、わが国における産官学各界のリーダーシップの欠如が顕在化したのではない。 講演者は、原子力安全を自主的、継続的に高めるために、原子力産業界に”自己規制組織”として発足した原子力安全推進協会の設立に関わり、現在に至っている。その経験を通じて、事業者のリーダーシップ育成の取組みを米国と比較しつつ、原子力安全の視点から、求められる原子力業界のリーダーシップについて話題を提供する。
14：50～15：00	休憩
15：00～16：10	【講演2】「もうこりた」、魅せるMMIから響き合うMMIへ 独立行政法人 原子力安全基盤機構 技術参与 牧野 眞臣 講演概要 福島第一原発1号機の営業運転開始5日後、昭和46年4月1日、日本原子力事業(株)に入社した。40年後に過酷事故を引き起こしてしまった。MMIの夢を魅せる 化し、柏崎刈羽6号機でそれを実現した。耐震性、接地線、アメニティ、無停電電源は考えたが、直流がなくなることは考えなかった。まだまだ事故に学ぶことが多い。今、作る人から規制する人へ変わった。物を作らない組織は、現場実践のない頭でかちを懸念。公平・独立、科学的・合理的判断が求められる中、孤立はならない。デジタル技術は、日進月歩で舵取りが難しい。今、希少な新人と出会い、寺子屋「観音堂」を開いて、響き合うMMIをもって語っている。「忘己利他」を念じ続けて。
16：10	閉会の辞

懇 親 会

時間	16:20～18:00
会場	京都大学東京オフィス 住所: 東京都港区南2-15-1 品川インターシティA棟27階
会費	¥1,000 (スナックとソフトドリンク)

久郷 明秀氏



昭和53年3月 東京大学工学部機械工学科修了
 同年4月 関西電力株式会社 入社
 平成 8年2月 原子力・火力本部 原子力計画課長
 平成11年12月 大飯発電所次長、原子炉主任技術者
 平成13年6月 Leeds大学大学院国際研究科 (Master of Arts) 終了
 平成18年3月 京都大学大学院エネルギー科学研究科博士課程修了 博士(エネルギー科学)取得
 平成21年6月 東京支社 副支社長
 平成24年2月 出向 電気事業連合会 新組織設立準備室長
 平成24年12月 関西電力株式会社 退社
 平成25年1月 (一般社団法人)原子力安全推進協会 理事・人材育成部長(現在に至る)

牧野 眞臣氏



昭和46年3月 京都大学大学院修士課程(電気工学)修了
 同年4月 日本原子力事業株式会社入社 BWR制御システム、動特性解析に従事
 昭和53年5月 GE社San Jose AETチーム、ABWR概念設計、動特性解析に従事、滞米中TMI事故
 昭和57年7月 帰国後、TMI対応、ABWR総合デジタルシステム開発・設計に従事
 平成 4年4月 東芝原子力電気計装技術部主幹、柏崎刈羽6号機電気計装制御システム技術取纏め
 平成 6年4月 府中工場発電計算機システム部主幹、K-6総合デジタルシステム設計支援
 平成 8年4月 原子力電気計装技術部主幹、K-6現地試験技術支援、営業運転開始
 平成11年4月 本社輸出管理部次長、輸出管理に従事
 平成13年4月 (財)原子力発電技術機構ヒューマンファクターセンター所長就任
 平成15年10月 (独)原子力安全基盤機構設立に伴い異動、ソフト面の安全規制調査研究を主導
 平成22年8月 (独)原子力安全基盤機構技術参与就任(現在に至る)